

# 東京都教育相談センター 教職員等からの相談

心配な子供の理解や対応について、私たちと一緒に考えませんか

東京都教育相談センターでは、教職員等からの、幼児・児童・生徒の理解と対応、校内の教育相談体制づくり等に係る相談を受け付けています。

## 教職員等からの専用電話回線

☎ 03-3360-4160

- ▶ 集団生活において適応が難しいように見えるが、保護者も子供も困っている感じがしない。どう関わればよいのか…。
- ▶ 希死念慮があり入院していた子供が登校できるようになったけれど、どのような配慮が必要か。
- ▶ 子供が校内で自傷した。どう対応したらよいのか。
- ▶ 不登校が続き卒業が難しい。このまま退学となってしまうのも心配。
- ▶ 「学校外の人に相談したい」と子供が話して。どこにつなげて、今後どのように関わっていけばいいのだろう。

など

## 受付時間

平日午前 9 時から午後 5 時まで

(第 2・第 4 水曜日は

午前 9 時から午後 9 時まで)

- ・ 都内公立学校教職員等から**直接かけられます**
- ・ 学校以外の**関係機関**からも受け付けます
- ・ **匿名**で相談可能です
- ・ 子供・保護者を「**来所相談**」につなげる相談もできます

## 上記電話相談以外に、**学校訪問**も行っています

### 校内研修会の講師として

- ・ 発達障害のある子供の理解と支援
- ・ 自傷・希死念慮のある子供の理解と支援
- ・ 心配な児童・生徒の保護者への対応
- ・ 「高校生の意識」調査<sup>\*</sup>を活用した支援

(訪問校の感想)

- ・ 若手教職員に、生徒の自傷行為への対応について基本的な知識を伝えられた。
- ・ 「高校生の意識」調査で、見えていなかった生徒の困り感が分かり、声を掛けるきっかけになった。

<sup>\*</sup>「高校生の意識」調査…40 項目の質問回答を 5 点の尺度を用いて解釈し、心理的な側面の把握や理解に役立てる調査

### ケース会議助言者として

- ・ 対応に苦慮する児童・生徒への関わり  
(自傷・他害、集団逸脱など)
- ・ 関係機関との連携会議への同席

(訪問校の感想)

- ・ 校内の教育相談体制について、外部から助言してもらうことで、見えていなかった課題が見えた。
- ・ 今後の校内体制や役割分担、生徒への配慮の仕方にイメージをもつことができた。

**研修会や事例検討会等について  
まずはお電話ください。**

